

（1）国語

（設置科目） 現代の国語 2単位

（授業内容等） 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力の育成を図る科目です。具体的には、話し合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出ししたりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にしながら行います。

（設置科目） 言語文化 2単位

（授業内容等） 小説や古典文学に触れることで、上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深めることを中心に行っていきます。

（2）地理歴史

（設置科目） 歴史総合 2単位

（授業内容等） 近現代の歴史の展開に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。また、近現代の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことを目的とする。歴史総合は教科・科目の横断的要素を多く含んでいる科目である。公共、地理総合と重複する分野があることはもちろんのこと、2、3年次に履修する発展的・探究科目である日本史探究、世界史探究、地理探究、政経、倫理への橋渡しの基盤となる科目である。

（3）公民

（設置科目） 公共 2単位

（授業内容等） 成人年齢が18歳に引き下げられ、高校生のうちから主権者としての行動が求められている。現代の社会は多様で複雑化している。このような現代の社会で発生する諸課題に対して、公共では、政治、経済、倫理、環境、国際的観点から主体的に多様な他者と協働しながら多角的・多面的に考察し、判断・表現する力を身につけていくことを目的とする。そして、主権者として社会に参画する際に、選択・判断するための手がかりとなる見方・考え方を理解することを目的とする。公共は教科・科目の横断的要素を多く含んでいる科目である。歴史総合、地理総合と重複する分野があることはもちろんのこと、2、3年次に履修する発展的・探究科目である日本史探究、世界史探究、地理探究、政経、倫理への橋渡しの基盤となる科目である。

（4）数学

（設置科目） 数学Ⅰ 3単位

（授業内容等） 「数と式」、「集合と命題」、「2次関数」、「図形と計量」、「データの分析」を学習する。中学校の既習内容の延長であり、既習内容と接続しながら授業展開を行う。中学校の既習内容の発展として、「数と式」では「3次式の展開や因数分解」、「2次関数」では「2次不等式」等の内容を学習する。「数学Ⅰ」は高校数学すべての基礎・基本となる科目である。学習内容を繰り返し扱い、基礎・基本の定着を図り、学力向上を目指す。「数学Ⅰ」は1クラス2展開の少人数で授業を行う。「数学Ⅰ」、「数学A」はともに高校数学の基礎・基本となる科目であるので、しっかり勉強しておく必要がある。最近では、文系の経済学部や経営学部の入試で数学を必要とする大学が増えてきている。また、国公立の大学入試でほとんどの大学が数学を試験科目としている。文系・理系に関係なく、1年次からしっかり授業に取り組むことが望ましい。

（設置科目） 数学A 2単位

(授業内容等) 「場合の数と確率」、「図形の性質」、「数学と人間の活動」を学習する。「数学Ⅰ」の内容の補完であり、数学のよさを認識し、数学的に考える資質・能力を養う。「数学A」も中学校の既習内容の延長であり、既習内容と接続しながら授業展開を行う。中学校の既習内容の発展として、「場合の数と確率」では「反復試行の確率」等の内容を学習する。また、「数学と人間の活動」では「ユークリッドの互除法」等の約数の性質を学習する。「数学A」も「数学Ⅰ」と同様に1クラス2展開の少人数で授業を行う。「数学Ⅰ」、「数学A」はともに高校数学の基礎・基本となる科目であるので、しっかり勉強をしておく必要がある。最近では、文系の経済学部や経営学部の入試で数学が必要とする大学が増えてきている。また、国公立の大学入試でほとんどの大学が数学を試験科目としている。文系・理系に関係なく、1年次からしっかり授業に取り組むことが望ましい。

(5) 理科

(設置科目) 化学基礎 2単位

(授業内容等) 物質について、物質そのものの構成や変化について、また、人間の生活との関わりや利用について学習する。観察、実験などを行い、見通しを持って科学的に探究しようとする力や態度、技能の基礎を養うことを目指す。化学は理科の全分野(化学以外は、物理、生物、地学)に関わる分野である。その基礎となることを「化学基礎」で学ぶ。理系、看護医療系に進学を希望する者はもちろんのこと、栄養学などでも必要な学習である。3年次には更に発展した内容の「化学」を選択履修することもできる。

(6) 保健体育

(設置科目) 体育 3単位

(授業内容等) 運動種目や体づくり運動の実践、体育理論の学習を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

(設置科目) 保健 1単位

(授業内容等) 「現代社会と健康」「安全な社会生活」の学習を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。

(7) 芸術 ※1科目を選択

(設置科目) 音楽Ⅰ 2単位

(授業内容等) 高校音楽では、小・中学校での学習を踏まえ、更に発展的な内容に取り組んでいく。音楽Ⅰでは、歌唱・器楽・鑑賞・創作を通して、幅広く音楽文化に触れていき、文化背景や作曲者の生涯、楽譜の読み方等を学んでいく。音楽の知識や技能を向上させていくのに加え、合唱や器楽を通して表現力を身につける活動もおこなう。

(設置科目) 美術Ⅰ 2単位

(授業内容等) 〈鉛筆デッサン〉描くことを通して自分の目を鍛える。対象をしっかりと観察する。〈色彩構成〉色で感性を表現する。世界で一つだけのたまごのデザインを考える。〈立体構成〉ランプシェードを制作する。アルミワイヤーを使って線で立体を作る。

(設置科目) 書道Ⅰ 2単位

(授業内容等) 小・中国語科書写の学習を基礎とし、書道の幅広い学習を通して書の知識・技能、歴史的背景等を学びます。また、書道を学ぶことを通じて感性を高め、鑑賞の基礎的な能力を養います。書道Ⅰでは主に「楷書」「行書」「仮名」の学習を行います。大筆、小筆、仮名用小筆を用いて様々な作品制作をしていきます。

(8) 英語

(設置科目)

英語コミュニケーションⅠ 4単位

(授業内容等)

中学校における「英語」の学習内容との接続や、高校での学習への円滑な移行を考慮しながら、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やりとり]」、「書くこと」を総合的に学習する。特に年度初めの時期は、中学校での既習の語句や文構造、文法事項などの学習内容を繰り返し扱い、基礎の定着を行う。

(設置科目)

論理・表現Ⅰ 2単位

(授業内容等)

中学校などにおけるコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと [やりとり]」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する学習を行う。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝え合うことができるようになることを目指す。

(9) 情報

(設置科目)

情報Ⅰ 2単位

(授業内容等)

情報を活用する力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を身に付けます。問題解決、コミュニケーションと情報デザイン、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークとデータの活用について扱います。特に情報社会で求められる問題解決能力の基本と問題を解決するために必要な手法を核として学び、情報技術の扱い方や科学的な理解を通して、現代の情報社会に実践活用する基本を学びます。高度な学びをする大学や短大、プロフェッショナルとなる専門学校はもちろん、社会に出ても通用する基本的な情報リテラシーを身に付ける。文系理系は意識しない。特に総合型入試を考えている人は、知識としてだけでなく思考・判断・表現に繋げて的確に情報を発信する力を身に付ける。また、3年次に開講する「情報Ⅱ」では共通テストを視野に入れるため、情報Ⅰの内容が情報分野の学習の基盤となる。

(10) 総合的な探究の時間 1単位

(授業内容等)

総合的な探究の時間は、「探究」という活動を通して日常の何気ない疑問の答えを考えたり、気になる課題の解決に取り組む教科です。1年次では自分自身の興味関心について理解を深め、課題を設定して探究活動を行います。ぜひ「問を立てて学ぶ」楽しさを堪能してください。